



メリークリスマス！  
 & 新年おめでとう！  
 冬休みは児童館で  
 あそぼう!!



### 高校生ボランティアのおはなし会

- ・ 1月7日(土) 10:30～  
 高校生ボランティアのおねえさんがアンパンマンの紙しばいを読んでくれます。おねえさんといっしょに「こま」づくりもします。
- ・ 場所 馬頭図書館 1階

### 婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 1月14日(土) 14:00～  
 おはなししょうずなボランティアさんが絵本を読んでもくれます。おりがみなどもおしえてもらえます。
- ・ 場所 馬頭図書館 1階

### 読書会

- ・ 1月11日(水) 13:30～  
 テキスト 「行人」(夏目漱石 著)  
 興味のある方をお待ちしています。
- ・ 場所 馬頭図書館 2階



十一月二十日、第二十四回ゆりがねマラソン大会が行われました。  
 小学生1kmの種目では、九十四名が参加して行われ、桐花みなみさん(馬頭小)が好タイムで優勝しました。  
 この日町内外から集まった約五百十名のランナーは晴天に恵まれた、ゆりがねの郷を元気に走り抜けて行きました。

### 今月の表紙



### 工作教室

12月17日(土) 午前10時～

ステキなお正月かざりをつくりましょう  
 申し込み 12月15日(木)まで  
 ・ 材料費 100円

### なかよしひろば

12月21日(水) 午前10時～

ひとあし早くクリスマスをしよう！プレゼント交換をします。100円程度のプレゼントを準備してきてね！  
 ・ 申し込み 12月17日(土)まで ・ 参加費 100円

### クリスマス会

12月23日(金) 午前10時～

みんなでたのしくクリスマスパーティーをしよう。  
 ・ 申し込み 12月21日(水)まで ・ 参加費 100円

### 冬休みお楽しみ会

12月27日(火) 午前10時～

お友だちを誘って遊びにきてね。  
 なにをやるかはお楽しみ。楽しくすごそう。  
 ・ 申し込み 12月21日(水)

### 生け花教室

12月27日(火) 午後1:30～

お正月のお花をいけましょう。会員でない人も大歓迎！きれいに飾って新しい年を迎えましょう。  
 ・ 申し込み 12月21日(水)まで ・ 花代 1000円

### お正月あそびをしよう

1月6日(金) 午前10時～

福笑い、すごろく、かるた、百人一首などで楽しく遊ぼう。

### お茶会

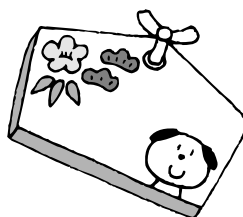
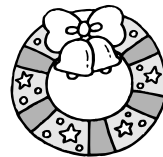
1月9日(月) 午前10時～

カテキンたっぷりのお茶でカゼ予防！おいしい和菓子といっしょにいかがですか？気軽に参加してください。  
 ・ 申し込み 1月6日(金)まで

### 料理教室

1月14日(土) 午前10時～

“14日のだんごづくり”をしよう。  
 ・ 申し込み 1月12日(木)まで



### 「児童館」 12月16日～1月15日のお休み

開館時間 午前9時～午後4時  
 ☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
					12/16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15						

那珂川町の文化財シリーズ  
健武山神社と産金

健武山神社は古代の武茂郷の地とされる健武の、武茂川右岸の丘陵沿いに立地しています。平安時代に編さんされた法典『延喜式』の『神名帳』には全国の神社祭神が記されています。これに記載されたものを『式内社』とよび、国家がその社格と由緒を公認した神社として以後その地位を示す指標となっています。健武山神社は、下野国十一社、那須郡三社のうちの一つに数えられています。

健武山神社について、『続日本後紀』八三五年の記事には「下野国武茂神に従五位下を授け奉る。此の神は沙金（砂金）を採る山に坐す」とあり、また、『東大寺要録』には、七四七年に下野から金産出の知らせがあったことが記されています。このことから、奈良時代、健武山神社周辺では砂金が採れていたことが分かります。それではこの金はいったい何に用いられていたのでしょうか。



健武山神社

「奈良の大仏」として有名な東大寺盧舎那仏は、七四三年、聖武天皇の発願によって建立が開始されます。大仏を鍍金（めつき）するには大量の金を必要としましたが、それまで国内での金の産出は知られていませんでした。天皇は全国に金の産出を求めたところ、七四七年、下野から産金の知らせがあったことが『東大寺要録』に記載されています。その二年後の七四九年には陸奥国から金が献上され、『続日本紀』、これらの金によって大仏は七五二年に完成をみることとなります。

また、『延喜式』の記載には、下野国から朝廷に納める交易雑物の中に「砂金一五〇両、練金八四両」とあり、採金には「下野の砂金は、徭父を採るに使い、食は正税をあたよ」とあり、砂金採取の費用を国家で支出する、つまり

国の直営で行われていたことがわかります。採取された金は、遣唐使など大陸との交流にも欠かせない産物としても用いられていたようです。

このように、健武山神社が式内社の一つに数えられているのは、那須の産金が大仏建立に限らず、国家の経営に重要な役割を果たしていたからといえるでしょう。

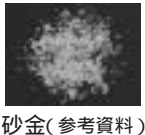
都へ運ばれた那須の砂金は都人の間で有名であったらしく和歌の中にも登場しています。

「下野やなすのあをがね  
ななはかり  
ななよはかりて  
あはぬ君哉」 『後葉和歌集』

「あふ事はなすのゆりがね  
いつまでか  
碎けて恋に  
沈みはつべき」 『三百首和歌』

古代の武茂郷は産金によって国家に大きな貢献をし、都人からたいへん注目を集めていました。健武にある健武山神社は那須の産金の歴史を今に伝えてくれています。

(なす風土記の丘資料館 学芸員 益子 剛)



砂金(参考資料)

うぶごえ

(氏名)	(父母の名)	(住所)
酒主 風蘭	忍	小口
益子 結衣	正人	大山上郷
田村 麗斗	順一	健武
磯 萌々子	健一	小川
和地 未来	裕穂	小川
塩田 愛弓	真弘	小川
大森 稀々香	幸男	薬利

おくやみ

(氏名)	(年齢)	(住所)
松本 学	(47)	和見
桑野 八マ	(100)	矢又
大武 一男	(67)	富山
飯塚 慶一	(87)	馬頭
笠井 あい	(88)	大内
笠井 スカ	(69)	大那地
村田 八ナノ	(95)	馬頭
森 キク	(83)	小口

**12月1日現在の人口**  
(住民基本台帳)

男	10,221人 (-23)
女	10,248人 (-15)
計	20,469人 (-38)
世帯数	5,987 (-3)

( )内は前月との比較



出生届出は掲載希望者のみです。

岡 好明	(75)	谷川
米谷 キン	(90)	馬頭
菊池 敏明	(29)	大山上郷
薄井 和平	(78)	馬頭
大森 洋	(80)	和見
大森 三壽	(84)	馬頭
小泉 保	(82)	小川
福島 千代	(79)	芳井
薄井 久男	(75)	小川
大森 巽	(77)	小川
大金 きよ	(79)	東戸田
佐竹 竹城	(83)	片平
渡邊 辰男	(89)	小川

10月21日、11月20日 受付分 敬称略